

JDF 地域フォーラム in 北海道参加者アンケート

集 計 表

以下のとおり使用している漢字や表現及び内容は、可能な限り原文に基づき作成しました。

- * 回収は53枚でした。
- * 1～5の評価は、複数記載及び未記入があったため回収枚数と一致していません。
- * 1～4の各項目の<自由記載>の冒頭の数字は、その項目に関する回答者の評価を記載しました。未記入は、評価未記入ですが自由記載のみ記入しているものです。
- * 記載内容で個人の氏名や特定される情報は表現を変更しています。
- * 文頭の・は、回答者毎に掲載しています。

1. 基調報告はいかがでしたか

大変良かった 18名	良かった 27名	普通 6名	良くなかった 1名
<自由記載>			
大変良かった <ul style="list-style-type: none"> ・ 私どもの協会では、昨年、社協、知的障害者施設のご協力、また、市役所の福祉課の皆さまにもご理解をいただき権利条約に向けてのイエローリボン運動をさせていただき、300人以上の方に普及させていただきました。今後、権利条約の批准に向けての国連に対して重要な提言をされているJDFの動きに感銘いたしました。 ・ 国際障害者年との盛り上がりの違いはわかりやすかったです。 ・ わかりやすく学べた。 ・ 介護のいる重度障害者の方たちが社会へ出ることがまだ、おざなりにされている問題について解決を望みます。 ・ この国の主人公として生きられる様に生きがいをもたせてくれる報告でした。 			
「大変良かった」と「良かった」を両方記入 権利条約は今まで言葉だけの関心であったが今日は大変勉強になりました。資料を一生懸命読みます。			
良かった <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律を本当にわかっていない人が多いということがわかりました。 ・ 障害者権利条約について改めて聞いて頭に取り入れれました。 ・ 全体像がやや見えてきた。 ・ 成り立てホヤホヤの障害者(心臓・精神)です。こうした集まりには、初めて参加しました。国際的な流れを感じる事が出来、出席の意義を改めて強く感じました。 ・ ややわからない部分もありました。 ・ 最近、全国的にも、札幌市においても24時間介護を必要とする人に対して、夜間の介護者の共有や日中活動への収容によって必要な介護を安くすませようという動きを多く感じます。もちろん本人が自己選択によってそれを望むならよいかもしれないが、本人が24時間介護を必要としている場合は、他人がそれを否定することは絶対にしてはならないと思います。JDFでこのことを今一度はっきり主張して下さい。 ・ JDFの努力がよく分かったとともに自分自身が何をしなければならないか考えさせられました。 			
普通 <ul style="list-style-type: none"> ・ まだ理解できない部分が多数あったので ・ 権利条約の経緯や動きについて再確認できた。 			

2. 基調講演はいかがでしたか。

大変良かった 28 名	良かった 21 名	普通 2 名	良くなかった
<自由記載>			
未記入			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別を無くすというか、何が差別かもっとわかりやすく知的障害者や子どもにも理解できるようなマンガ風にしてはどうか？ 			
<p>大変良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者の平等・差別に対して、改めて合理的配慮の欠如についての問題やアクセシビリティについても障害者に対しての情報、コミュニケーションの手段の必要性、障害者の雇用問題についても重要です。 ・ 大変わかりやすいかみくだいた内容がストンと落ちた。 ・ 具体的で良かった。 ・ 具体的な話しが、メッセージが良かったです。 ・ 迫力がありません。良かったです。 ・ 実感をもって聞けた。 ・ 学生時代から差別されていて社会とは何かよく疑問に思って生きてきた。未だにわからない。 ・ 障がい者のダブルカウントをとりあげ、改善を図ろうという訴えには大変感動しました。千葉県取り組みについても大切な活動です。 ・ あらためて人権というものは自分自身であると思いました。手話通訳が必要といつまでも要求するのではなく当たり前にある。そんな日が早く来て欲しい。 			
<p>良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律についてわかりにくい具体例を出して良かった ・ 講師の普段の思いを感じさせる、力が入った講演でした。時間が予定より延びたのは思いのなせるワザでしょうか。しかし、内容については物足りなくもっと聞きたく思いました。 ・ 障害者の人権というのは人間として絶対必要で権利を得るために自分もがんばりたいと思いました。 			

3. パネルディスカッションはいかがでしたか。

大変良かった 20 名	良かった 24 名	普通 2 名	良くなかった 2 名
<自由記載>			
未記入			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定発言者の方の「生の声」が入ったことで「in 北海道」らしくなったと感じました。 			
<p>大変良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各障害当事者一個人としてこの権利条約に対しての考え方を話されていた。 ・ 良かった ・ コーディネーターが我々の思いをはっきりと意識できるようにディスカッションをすすめてくれていた。パネリストも、それぞれの立場から思いと発言をしやすかったのではないのでしょうか。 ・ 様々な障害者の意見が聞けて参考になりました。 ・ 1人の指定発言者のお話を聞いて私にも何かできることがあったら助けたいと思いました。 ・ それぞれの障がい別の発言もよかった！！ 			
<p>良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な例を上げたので ・ 色んな意見があるんだと思いました。 ・ 重症の障害者をかかえる会の発言に感動を受けました。私たちの地域にも重症の子どもをかかえる高等養護学校があります。わたしの協会でも交流をさせていただいており 			

<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者の話はもう少し話しがききたかった。5～6分は無理ですか？ ・ 個々の問題点が明らかになってきた。 ・ 福祉サービスを受けたくても、地域での格差があり、適当な事業が無く受けられなかったり本当は必要なサービスも制限されたりする現状が「障害者の権利条約」が推進される事になり、良い方向に向かうことを願います。 ・ 各発言者、パネリストとも、それぞれの立場からの意見を発表され、おもしろく聞かせて頂きました。政府行政に金がないので民間にたのもうという自立支援法はゆるす訳にいきませんね。 ・ それぞれ障害者の問題、実状を学んだ
<p>「良かった」と「普通」を両方記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発言者のお話を聞いてよかった。知的障害者にふりかなをよめないことは知らなかった。1つ1つ知ってよかった。
<p>「良かった(前半)」と「良くなかった(後半)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前半は良かったが後半は良くなかった。休憩時間は短すぎ(10分は必要だ)、ろう者も目が疲れる
<p>普通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ だれの意見かわかりにくかった
<p>良くなかった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JDFin 北海道実行委員会の構成団体で出席している団体に、その団体が条約と関連して抱えている問題について発言させてもよかったのではないかと。休憩時間が5分ではたりない。

4. フォーラム全体(運営・情報保障・資料など) はいかがでしたか。

大変良かった 25名	良かった 19名	普通 5名	良くなかった 1名
<自由記載>			
<p>大変良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料をゆっくり読んで理解したいと思います。 ・ 要約筆記、手話の皆さまの情報提供も、たいへん良かったです。ありがとうございます ・ 司会がわかりやすく勇気づけられました ・ 大変良かったが、点字、ルビがなかったことは発言がなかったら気がつかなかった。 ・ 土曜日だったが、始めから参加でき本当に良かった！ ・ 理解しにくい専門的なことを、後でゆっくり見ることが出来るという資料が用意されていたことがとても良かった。初めて障害者の権利の大会に参加して、あまりの国の対応の悪さにびっくり致しました。 ・ パネリスト、コメンテーター、コーディネーターの皆さんの的確な発言、深い知識に頭が下がります。 ・ ボランティアの方々も主体的に活躍して下さっていたし、委員会も前向きな会の運営をされていたと思います。ありがとうございました。私も新たな視点で権利条約を見直すいい機会となりました。 ・ 熱意が十分伝わり進行も内容も良かった。 ・ 千葉県のアナウンサー集をありがとうございました。帰ったらよく読みたいと思います。 ・ 情報保障の面では大変よかったです。 			
<p>良かった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さまの運営努力は、まさしく人権をかなえたものと思われた。 ・ 聴覚に障害のある方が、これほど集まっていることに感動しました。 ・ 字幕映像の上映がよかった。 			
<p>普通</p>			

- ・ 字幕が良かった。手話通訳は、わかりにくい人がいた
- ・ 会場、後半寒かった。ルビは知的の人だけでなく聴覚の人たちにも必要だったのではと思う。

良くなかった

- ・ 資料の合理的配慮が足りていない。権利条約を進める団体なら必要不可欠だと思う。自身自身や関わる団体も含めてそういう面でも反省すべきだし考えていきたい。

5. 「障害者の権利条約」及び「日本障害フォーラム(JDF)」に関するご質問、または今後の企画へのご要望などがあればご記入ください。 < 自由記載 >

- ・ 私の家にいるので新聞やニュースなど早く出してほしいです。
- ・ マイクの音が強すぎる。人工内耳には頭痛の原因になる。特に長時間だったので司会、コーディネーター、コメンテーターにも配慮を。
- ・ 道内各地で、今日ようなフォーラムを開催することで大きな連帯力が生まれていくことかと思えます。大変でしょうが期待しています。
- ・ 本日は、初めて私も、この様な素晴らしいフォーラムに参加させていただきました事をお礼申し上げます。フォーラムの中で司会の方から夕張の障害者は、どうなっているんだろうと言っていたき、さらにぜひフォーラム in 夕張という話もしていただきました。現在夕張は 12,000 人の人口で手帳の所持者は 1 割です。明年 10 月には、北身協主催の大会も開かれます。ぜひ、夕張でもこのフォーラムを開催していただきたい。
- ・ 批准前にすることがたくさんありますネ。びっくりしました。各団体が、横のつながりで協力しあえることが大切だと思います。北海道にも千葉のような条例をつくれませんか。
- ・ 批准後の点検報告集会もいいですね。
- ・ いろいろな問題に気づかされた。他人事とは思わないことですね。
- ・ 固い壁に克服を乗り越えて権利の細かい物の集める運動が必要です。
- ・ このフォーラムに初参加ですが、もっと早くかわるべきでした。権利条約についても自分も障害者としてどれだけ重く受けとめてさらにどうしていくかを学習が足りないと思った。今日をキッカケに自分の問題と感じた。
- ・ 組織運動には思想対立が起こりがち、そういうところをお互いにひかえる姿勢をなくしてはうまくいかない。
- ・ 発展途上国問題を含めて議論してほしかった。昨年の世界会議に参加し多くの国の人と対話しました。
- ・ 批准、実施に移れた場合の各国に対するチェック機能はどうなるのだろう。国際原子力委員会の様にチェック促進を図る目的。
- ・ この条約は、障害者にとって重要な福音ともいえるもの。今後の活動にもとても期待しています。
- ・ 関係団体との連携や関係団体への要望を知りたいです。良い機会を作ってくださいありがとうございました。
- ・ 現代医学が発達している中で、脳に大きな障害を受けても助かる時代になっています。見ただけで判断出来ないが、大変な障害が残っている人達が利用できる場は本当に少なく家族に負担がかかります。身体に障害のある方々も大変ですが、目に見えないが障害は周りにも理解されず苦労しています。それを補佐してくれるスタッフの方も大変です。でも、その方々にもなんの保障もなく苦労しています。
- ・ 市町村単位でフォーラムがあったら最高
- ・ (質問)日本人の共同体意識のなせるワザなのか、無意識に携帯電話を使う若い方が大変多いのに驚かされます。自分はICDを装置しているので、ハラハラし通して電車、バスで優先席に座っていますが、非常に疲れます。携帯電話の開発時には、こうした考慮がされなかったのでしょうか。今後、製品開発時にも配慮されるようになるのでしょうか。お考えをうかがえれば幸いです。

(回答)携帯電話は航空機内での使用が乗客の生命の保護のためにその使用を禁止しており、条約第10条には、以下の記載もあることから条約を根拠として使用の禁止や制限を求めるとともに、開発・製造段階での配慮を求めることは可能であると思われる。また、現在、普及が促進されているハイブリッド車は、音が無いため視覚障害者からその接近に気づかないことの危険性が指摘されており、同様に考えることができる。

(参考)第十条 生命に対する権利

締約国は、すべての人間が生命に対する固有の権利を有することを再確認するものとし、障害者が他の者と平等にその権利を効果的に享有することを確保するためのすべての必要な措置をとる。(政府仮訳)

- ・ 「国連障害年」草の根キャラバン自治体90%とか、できれば大変でしょうが、今回もやられる事を祈ります。日本中すみずみまで本条約についての理解、運動に組み入れ大きなウネリが政治を社会を動かしていくのでは。
- ・ あらためて権利条約批准の問題を勉強しなおしました。問題点、課題も明確になり大変良かった。今後は、関係者全員で共有し声を上げ、全国運動にしてゆきたい。
- ・ 現場の実状をひろうためには声なき声をすくい上げる人が必要です。そのためにはサービス事業者に呼びかけて賛同してもらうことが必要だと思います。アルバイト情報誌の企業に賛同してもらうことも大事だと思います。
- ・ ひとりの力は小さくても、思いを同じくする仲間が集い運動を進めることで、大きな力になっていく。私も一緒にやっていきたいと強く感じるフォーラムでした。ありがとうございました。
- ・ 勉強不足で条約のことは今日始めて知りました。江別市(道)の交通費助成が生きていきやすい街づくり市民とのかかわりを望んでいます。
- ・ 政府の広報活動、ヒアリングなど行動スケジュールを示してほしい。各自治体において広報に取り組みましよう。世論をつくってほしい。
- ・ (質問)一部発言がありました。今回のフォーラムは、専門家の集まりでない、もっと簡易に分かり易く、具体的事例を盛り込むことが大切である。例えば札幌であった「三丁目食堂」の件、何が問題であったのか、これが将来「権利条約」批准されたとき解決されるのか聞きたかった。

(回答)何が問題であったのかについては、現在、裁判で審議中であることと情報不足であるため回答できないが、条約の第16条の規定から考えると障害者の虐待を禁止する法制度の確立が求められると言える。

(参考)第十六条 搾取、暴力及び虐待からの自由

- 1 締約国は、家庭の内外におけるあらゆる形態の搾取、暴力及び虐待(性別を理由とするものを含む。)から障害者を保護するためのすべての適当な立法上、行政上、社会上、教育上その他の措置をとる。
- 2 また、締約国は、特に、障害者及びその家族並びに介護者に対する適当な形態の性別及び年齢に配慮した援助及び支援(搾取、暴力及び虐待の事案を防止し、認識し、及び報告する方法に関する情報及び教育を提供することによるものを含む。)を確保することにより、あらゆる形態の搾取、暴力及び虐待を防止するためのすべての適当な措置をとる。締約国は、保護事業が年齢、性別及び障害に配慮したものであることを確保する。(政府仮訳)

- ・ 行政 VS 市民という考えより、行政 & 市民という考え方が良いのではないかと感じました。要求はもっともですし改善していかなくてはいけないと思いますが、ただダメ。改善してというのではなく、根拠のある代替案のようなものがあると、より良いのかなと思いました。(埼玉県などでは施設建設より教諭の配値が低コストであるなど提案していると思います。)また、知的の方の発言にもありましたが、ルビをふる他にもわかりやすい表現があると思います。差別が何か明らかにすることは最優先課題だと思います。白石区の3丁目事件も「それがあたりまえ」と思っていた。知らなかったことから事件は深刻化しています。

- ・ 私は、生まれつき弱視で6年前に大出血で障害三級になり、仕事もくびになり生まれ故郷の札幌に帰省しました。たまたま老人福祉センターに来て、このフォーラムを知り参加することができました。障害者団体にも参加していないし新聞もとっていないのでこのような活動や集まりがあることを知ることができません。できれば個人あてに広報なりお知らせをいただければ大変うれしく思います。
- ・ 地域フォーラム(市町村レベル)を行ってほしい。千葉県のように条例をつくらう道議会になっていけるように願いたい。

日本障害フォーラム(JDF)
JDF 地域フォーラム in 北海道実行委員会